

上マージン 約 3.0 cm

余白  
約 2.5 cm

講演番号(後日、  
本会で張り込み  
ます。)

# 理論応用力学講演会講演論文集原稿執筆要領

## Instructions for Preparation of Manuscript for NCTAM

応用 花子 (固体大・工)    理論 太郎 (流体大・理)

Hanako OUYOU, University of Solid

Taro RIRON, University of Fluid

FAX: 00-1234-5678    E-mail: ouyou@nctam.jp

The Proceedings of the National Congress for Theoretical and Applied Mechanics will be prepared from camera-ready copy received from authors. All manuscripts should be in Japanese or English. Please follow the instructions printed on this sample paper with regard to the placement of title, authors' names and affiliations as well as main text. The length of the paper must be two pages defined by this page layout.

### 1. 原稿のレイアウト

著者の責任で「ワープロ・パソコン」等で作成、PDFファイルで投稿いただいた原稿をそのまま印刷原稿と致します。

投稿された論文は、冊子体となる講演論文集、ならびに J-Stage (科学技術振興事業団) による電子ジャーナルの双方の最終原稿として用いられます。そのため、電子媒体としてのある程度のクオリティーを要求されますので、同ホームページに「PDF 作成指針」を用意致しました。原稿作成に先だっご参照下さい。

講演会ホームページに「原稿執筆要領・見本」および「テンプレート」(ワード用および LaTeX 用) を用意致しましたのでご利用下さい。特に、オンライン化に伴い、第 53 回理論応用力学講演会の講演論文から一部書式が変更されておりますのでご注意下さい。

### 2. 原稿用紙のサイズと枚数

A4 判 (210 × 297) の白紙に上下 2 cm の空白をとり、本文は原則として 9 ポイント (3.25mm) 程度の文字を使用し、表題は下記文字数により作成して下さい。

### 3. 表題、氏名、勤務先 (邦文および英文)、連絡先

- ・表題は 12 ポイント (4.5mm) 以上の文字を使用し、1 ページ目の上中央に邦文・英文の順にお書き下さい。
- ・本文表題は、第 1 行目左端より 2.5cm の空白をとり (後日、本会で講演番号を貼り込みます) ご記入下さい。
- ・邦文氏名の右には所属を丸かっこで囲んで略記して下さい。
- ・英文氏名の後に所属機関の名称を記載して下さい。
- ・連絡先には FAX および E-mail 番号を記載して下さい。(FAX 番号だけでも結構です)

### 4. 本文

- ・文章は 2 段組とし中央に 1.0cm の空白を設けて下さい。
- ・文字は 9 ポイント程度の大きさとして下さい。
- ・1 ページあたりの文字数が片段 26 文字 (または左右 8.5cm) × 60 行 × 2 列 = 3120 文字程度になるように、文字間隔ならびに行間隔を設定して下さい。

数式の例は次の通りです。

$$M = \int_{\Omega} \rho dx \quad (1)$$

本文: 9 ポイント (文字高さ 3.25 mm)  
35 ~ 40 行 (行間 4.2 mm あるいは 12pt)

左マージン 約 1.8 cm

段間隔 1.0 cm

右マージン 約 1.8 cm

26 文字 (文字間隔 3.1mm) あるいは 8.5cm

26 文字 (文字間隔 3.1mm) あるいは 8.5cm

下マージン 約 2.5 cm

実際には枠は設けない

## 5. 図表、写真

- ・図表のタイトルならびに説明は(図表内を含む) 英文で記載して下さい(例を参照)。
- ・「PDF 作成指針」を参照して、解像度等にご注意下さい。
- ・図表は縮小しすぎると文字が読めなくなります。ご注意ください。

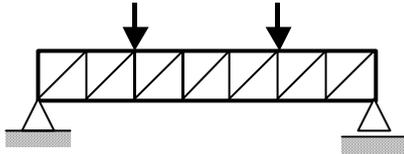


Fig. 1 Sample of figure

表の例を以下に示します。

Table 1 Sample of table

Case	Data
1	1.0
2	2.5
3	3.0

## 6. 文献

- ・本文中の引用箇所には、文章の右肩に小括弧を付した番号<sup>1)</sup>を記入し原著文献を明記して下さい。
- ・文献は末尾にまとめて下さい。

## 7. コピーライト

講演論文集の著作権は、日本学術会議メカニクス・構造研究連絡委員会が保有します。ご承知おき下さい。

## 参考文献

- 1) 応用花子, 理論太郎: 理論応用力学講演会講演論文集原稿執筆要領, 理論応用力学講演会講演論文集, 52, 1-2, 2003.
- 2) H. Ouyou et al.: Instructions for Preparation of Manuscript, Proceedings of NCTAM, pp.3-4, 2003.

